

水産種苗供給所種苗生産事業 (昭和50,51年度)

竹内 四郎

目 的

ワカメ、アワビ、の種苗を生産して、県内各地へ配付し、浅海増養殖の振興をはかる。

方 法

43年4月に設置された水産種苗供給所の施設を使って、上記種苗を生産し乍ら、室内管理、海中管理等の面で、漁業者に対し、技術指導を実施すると共に、希望業者に対し有償配付を行なう。

結 果

表Iのとおり配付を行なった。

表I 種苗出荷実績

項目 年度	種 苗 種 類 別			出 荷 先		
	ワカメ	アワビ	ウニ			
50	^m 53,200	^ケ 4,560	0	(ワカメ) 出雲 43,100 ^m 石見 2,300 隠岐 7,800	(アワビ) 4,560 ^ケ 0 0	
51	^m 60,600	^ケ 22,300	^ケ 5,000	(ワカメ) 出雲 56,600 ^m 石見 0 隠岐 4,000	(アワビ) 19,300 ^ケ 3,000 0	(ウニ) 0 5,000 0

水温、照度、採苗時期等は表IIのとおりである。

表II ワカメ管理状況

年度	項目	採苗期日	採苗時の水温	メカブ使用量	採苗数	管理中の照度
50		50.5.28	18.5~ 19.0℃	300kg	60,000m	5~6月 1~5,000 lux 7~10月上旬…暗くする 10月— 1,000~8,000 lux
51		50.5.25	18.8~ 19.8℃	220kg	62,000m	5~6月 1~800 lux 7~9月…暗くする 10月— 1~8,000 lux

50年度は、10~11月の水温が、順調に低下したため、ワカメの生長も良好であったが、51年度は、水温降下が遅れたため、芽落ちの現象が各地でみられ、全般的に少々不良で、時期的に遅れてから生長する個体が、多くみられた。

表III アワビ採卵状況

年度	項目	産卵時期	採卵初期水温	採卵数	歩留り (5mmまで)
50		10月9日(自然卵) 10月30日(採卵) 12月8日	19.5℃ 17.8℃	2,000万粒中 1,000万粒は移殖	0.5%
51		11月11日~12月2日	19.4℃ 15.7℃	12,000万粒中 1,000万粒は研究会へ分譲	0.7%

表IIIのとおり、50、51年度におけるアワビの産卵は、19.5℃位から始まり、16℃前後で終了している。歩留りが、0.5~0.7%と余り良くないが、その原因としては、水量(O₂)の不足と、雑藻の繁殖等が考えられる。50年度の配付数量が少ないのは、49年度採卵したものについて、50年の夏が、豊状育温で、(室内水槽でも28℃を越える高温が長く続いた)斃死が多かったためと考えられる。なお採卵した卵の50~80%は、益田、平田その他の研究会へ分譲したものである。